羽昨工高新聞

第１４５号

発行所
石川県羽咋市西釜屋町
石川県立羽咋工業高校
TEL (0767) 22－1193
編集兼発行
羽咋工高生徒会新聞部

「羽工新聞」から振り返る本校の歴史、そして未来に向けて

校長　北野浩和

本校は、今年で六十一年目を迎え、十月十五日(土)に「創立六十周年記念式典」をコスモアイル羽咋で挙行いたします。六十年という節目を迎え更に一歩を踏み出すにあたり、過去を振り返り未来を考える良い機会にしたいと思います。

この「羽工高新聞」も今回で第145号の発刊を迎えました。創刊号は昭和三十七年(一九六二年)十月十日の開校式の日を発刊日として、生徒会の文芸クラブが編集発行しました。そこには、『新しい校風の樹立へ』『高校生活の認識を』と題した初代校長の平野晶平先生の言葉があります。「申すまでもなく着実な校風、偉大な伝統、清新な環境を創設していくその前途を思うとき、まことに多難にして永遠なるものがあると思うのでありますが、各自は各々の立場で、一歩一歩と焦らずに絶まず築きあげていくことこそその栄誉に応える責務なのであります。」そして、「この自然の中において広い広い視野をやしない、斬新な意匠を工夫し分析的頭脳のもと巧みな手の養成をなし、校庭に押し寄せくる日本海の波濤に、絶えざる勇壮活発の向学精神と努力の研讃にはげんで、基礎学芸の精確と、近代文化の魁をめざし、国の内外に雄飛すべきであります。」「此處秀麗の地、分析的頭脳による科学技術の錬磨に自立の子となり得ると信じます。…」これは、第1回入学式の校長式辞にある「…人間教育と技術教育の基盤として、本校の建学の精神というものを『自律』に求めたい。それはこの自律こそ真の自由と責任・独立と協調を意味するもので、近代社会における人間生活の指標と考えられるからである。即ち、教養を高め、総合的判断力を養い、これによって、責任ある自己の行動をとることのできる人間に成長することが優先されなければならないと信じる。」と繋がっています。

第2号は昭和三十八年七月十八日に発刊で、『集う自律の子等　大挙四百の新入生』とあり、四一一名もの生徒が入学したことが分かります(機械科3・電気科2・建築科1・土木科2の計8クラス)。また、教育方針と生徒に臨むものとして『教養と知性をもって』と書かれています。これは開校式校長挨拶・第一回入学式式辞で述べたことを、もう一度羽工高新聞で伝えておきたいという強い思いが伝わってきます。「…工業高校に於ける教育の本筋として徒らに技術の末端に走ることは厳に慎むべき考えますので、本校の教育方針を自主性に富んだ知性豊かな近代社会に有能な形成者を育成せんとする人間教育の立場と、勤労を愛し、創造性に富んだ進展極まりない生産技術に適応するに足る自信と誇りに満ちた中堅技術者を育成せんとする技術教育の立場を検討しておりますが、なおその基盤として本校建学の精神とも云うべきものを『自律』に求めたのであります。」と書かれています。

この「教育方針」と「建学の精神『自律と創造』」のもとで、一一、九二六名の卒業生が一歩一歩本校六十年の歴史を刻んできました。今後、羽咋工業高校がますます発展し、多くの後輩たちが続くことを思うと、六十年の歴史に培われた素晴らしい特色・伝統を受け継ぎ、同時に、改めるべき点は改めるというように、進むべき新しい道を見つけて前進してより良き明日へ向かっていくことを願っています。

現在、令和元年十二月から始まった新型コロナウイルスとの闘いが全世界を大きく揺るがし、今も収束の見通しが立っていません。さらに、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、中国の東シナ海への強引な海洋進出、急速な円安などの大きな為替変動など、世界を取り巻く状況は日々大きく変化し続けており、「未知なこと」や「予測不能なこと」が日常的に勃発し、我々は前例のない「答えのない時代」を生きて行かねばなりません。

このような時代に、この厳しい社会を生き抜くには、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自律した人間として、他者と協働しながら新たな価値を創造し、自分にとって必要な答えを導き出すための能力、未来を切り開いていく力を身に付けていく必要があります。まさに『自律と創造』の精神で『教養を高め、総合的判断力を養い、これによって、責任ある自己の行動をとることのできる人間に成長する』ことだと思います。

六十歳の祝いを「還暦」、七十歳の祝いを「古希」と呼びますが、羽咋工業高校は六十周年の「還暦」を迎え、紡いできた伝統と共に更なる飛躍に向けた歩みを続けます。次は七十歳の「古希」に向けて、日々の教育活動を確実に充実・発展させ、着実に前進していきます。

これからも地域の若者たちの自己研鑽、相互の切磋琢磨の学び舎として、「ものづくりは人づくり」を合い言葉に地域産業の担い手となる職業人の育成を目指し、キラリと輝き続ける工業高校でありたいと思います。

新任先生紹介コーナー

1　山形（やまがた）　泉（いずみ）　理科

1　川田（かわだ）　希望（のぞみ）　家庭科　羽咋高等学校

1　北野（きたの）　美空（みく）　工業科　建設・デザイン科　デザインコース　羽咋工業高等学校

1　峪（たに）　光司（こうじ）　国語科

1　酒井（さかい）　葉子（ようこ）　国語科

1　辻本（つじもと）　健（たけし）　事務部

1　岡島（おかじま）　順子（よりこ）　事務部

1　向井（むかい）　哲也（てつや）　ＩＣＴ支援員

1　氏名・担当教科
2　前任校
3　趣味・特技
4　羽工生の印象
5　羽工での抱負

2　鹿西高等学校
3　山登り
4　頑張り屋さん
5　自然科学のおもしろさを感じられるといいなと思います。

3　ゲーム・読書
4　元気。男子が多い。
5　まだまだわからないことが多く、皆さんに迷惑をかけることがあるかもしれませんが日々精進していきたいと思います。

2　羽松高等学校との兼務
3　ちょっとしたイラスト
4　自分から挨拶ができる人が多く好きです。

3　アニメや漫画を見ることが好きです。
4　元気。明るい。素直。
5　元気に明るく頑張ります！

2　七尾東雲高等学校との兼務
3　読書・忘れるのが特技です。
4　しっかりしている。目がいきいき。
5　東雲と羽工、約三十分間の道のりを一年間事故なく通うこと。

2　なし
3　家庭菜園・レザークラフト・陶芸・動物動画鑑賞
4　元気で部活動の活躍がすばらしい
5　今は仕事を覚えることで精一杯ですが、自分の仕事に責任を持っていきます。

2　なし
3　ドライブ
4　元気があり、挨拶が良くできている。
5　ＩＣＴを利用して先生や生徒の皆さんの作業や授業のサポートができるよう頑張ります。

2　中能登教育事務所
3　ドライブ・音楽鑑賞
4　礼儀正しい。
5　生徒が気持ちよく勉強できるよう、環境整備に努めたい。

令和４年度　第55回校内陸上競技大会　大会結果

男子個人順位

種目	順位	HNo.	氏名	記録
100m	優勝	3318	今井　天聖	12″56
	2位	3319	表谷　一冴	12″93
	3位	1101	大葭原　碧	13″20
900m	優勝	3236	柳森　遥斗	2′42″22
	2位	1224	前田　蒼空	2′44″55
	3位	3308	平田　裕也	2′45″16
走高跳	優勝	2217	芝田　悠翔	1m60cm
	2位	3301	姥浦　颯太	1m60cm
	3位	3213	崎田　悠斗	1m60cm
走幅跳	優勝	2326	保科　舜	5m30cm
	2位	3121	中西　勇汰	5m30cm
	3位	2206	形田　大知	5m20cm
ジャベボール投	優勝	3201	石倉　涼雅	42m30cm
	2位	3233	森本　夏輝	42m20cm
	3位	3312	道筋　康誠	41m80cm
400mＲ	優勝	22　H		50″00
	2位	32　H		50″55
	3位	33　H		50″85

部活動Ｒ 最速部門	優勝	陸上部	50″26

女子個人順位

種目	順位	HNo.	氏名	記録
100m	優勝	2338	橋本菜々美	15″68
	2位	3302	川島　千陽	15″94
	3位	2205	小川　綾水	16″53
600m	優勝	1222	藤井　史菜	1′59″92
	2位	1304	堅田ひなた	2′09″88
	3位	2324	平野　愛華	2′14″93
走高跳	優勝	2309	八野田　静	1m25cm
	2位	1301	伊　妃菜	1m20cm
	3位	3313	山村　真彩	1m15cm
走幅跳	優勝	3328	西　一華	3m90cm
	2位	3311	松本　純怜	3m40cm
	3位	2302	石倉　朝日	3m30cm
ジャベボール投	優勝	3332	前田　恵衣	31m90cm
	2位	2322	高田　美鶴	31m75cm
	3位	2314	麦谷愛日菜	28m60cm
400mＲ	優勝	2　年		1′02″39
	2位	1　年		1′04″58
	3位	3　年		1′05″39

部活動Ｒ パフォーマンス部門	優勝	剣道部	

第55回校内陸上競技大会

令和四年六月九日(木)に第五十五回校内陸上競技大会がおこなわれました。新型コロナウィルス感染対策のため、競技を精選し、新たな種目も含めおこないました。開会式後、女子６００ｍ決勝を皮切りに競技が始まりました。出場した生徒の全力で競技に取り組む姿は、羽咋工業高校の生徒らしさが十分に感じられるものでした。

また今回の校内陸上競技大会で熱中症予防のため給水所が用意されました。ＰＴＡの方々にお手伝いをしていただきました。多くの生徒が利用していました。

そして、全校生徒に５００ｍℓのお茶またはスポーツドリンクがＰＴＡから配布されました。

結果は表の通りです。

前期生徒会執行部決まる

令和四年四月十九日(火)に第二体育館を会場に前期生徒会役員選挙がおこなわれました。今回は各役職すべてで信任投票となりました。信任投票の結果全候補が信任され、令和四年度前期生徒会役員が決定しました。